

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2022年12月27日まで（2012年4月10日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型	外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券（Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有））、マネー・プール マザーファンド受益証券
	Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）	世界各国の先物取引等に係る権利および金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
	マネー・プール マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	・主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。 ・ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッドが提供する「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」を活用します。 ・当該外国投資法人において、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。	
主な組入制限	・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。	
分配方針	毎年3、6、9、12月の27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型



第28期（決算日：2019年3月27日）

第29期（決算日：2019年6月27日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型」は、去る6月27日に第29期の決算を行いましたので、法令に基づいて第28期～第29期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 税 分	価 達 配	額 み 金	期 騰	中 落	債 組 入	券 比 率	債 先 物	券 比 率	投 資 信 託 組 入	純 資 産
	円		円	円	騰	落		%		%	%	百万円
20期(2017年3月27日)	9,405		0		1.0		—	—	—	—	97.0	636
21期(2017年6月27日)	9,281		0		△1.3		—	—	—	—	96.5	481
22期(2017年9月27日)	9,072		0		△2.3		—	—	—	—	97.0	438
23期(2017年12月27日)	9,524		0		5.0		—	—	—	—	97.1	424
24期(2018年3月27日)	9,444		0		△0.8		—	—	—	—	95.0	398
25期(2018年6月27日)	9,466		0		0.2		—	—	—	—	95.0	383
26期(2018年9月27日)	9,428		0		△0.4		—	—	—	—	94.9	348
27期(2018年12月27日)	9,325		0		△1.1		—	—	—	—	95.0	329
28期(2019年3月27日)	9,113		0		△2.3		—	—	—	—	95.0	289
29期(2019年6月27日)	9,081		0		△0.4		—	—	—	—	95.0	280

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率			
第28期	(期 首) 2018年12月27日	円 9,325	% —	% —	% —	% 95.0
	12月末	9,319	△0.1	—	—	95.0
	2019年1月末	9,000	△3.5	—	—	95.0
	2月末	9,007	△3.4	—	—	95.0
	(期 末) 2019年3月27日	9,113	△2.3	—	—	95.0
第29期	(期 首) 2019年3月27日	9,113	—	—	—	95.0
	3月末	9,112	△0.0	—	—	95.0
	4月末	9,206	1.0	—	—	95.0
	5月末	9,274	1.8	—	—	95.0
	(期 末) 2019年6月27日	9,081	△0.4	—	—	95.0

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第28期～第29期：2018年12月28日～2019年6月27日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第 28 期 首	9,325円
第 29 期 末	9,081円
既払分配金	0円
騰 落 率	－2.6%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.6%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

エネルギー市場や貴金属市場の変動などがマイナスに影響しました。

第28期～第29期：2018年12月28日～2019年6月27日

投資環境について

▶ 株式市況

米国の株式市場は、米連邦準備制度理事会（F R B）がハト派に転じたとの見方が広がったことや、米中通商交渉の進展に対する期待などから上昇しました。欧州の株式市場も、中央銀行が金融緩和を継続するとの見方などから上昇しました。一方で、日本の株式市場は、為替市場で円が主要通貨に対して上昇したことなどから下落しました。新興国の株式市場は上昇しました。

▶ 債券市況

米国の債券利回りはF R Bによる利下げ期待などから低下しました。欧州や日本でも債券利回りが低下しました。新興国の債券利回りも概ね低下しました。

▶ 商品市況

原油価格は、石油輸出国機構（O P E C）の加盟国を中心とした産油国の協調減産への期待や、米国とイランの緊張の高まりなどから上昇しました。金価格は、上昇しました。

▶ 為替市況

円は米ドル、ユーロ、豪ドルなどに対して上昇しました。

▶ 国内短期金融市場

＜無担保コール翌日物金利の推移＞

日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.07%程度で推移しました。

＜国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移＞

日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。当作成期首から2019年1月にかけては、短期国債の需給の引き締めからマイナス0.28%まで低下していましたが、その後は徐々に上昇していき、足下はマイナス0.13%程度で推移しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型

当ファンドは、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dが発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

当作成期末においては、Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）を95.0%、マネー・プール マザーファンドを少額組み入れています。

▶ Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）

（当記載は、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dの資料を基に、三菱U F J 国際投信が作成したものです。）

Q T X W C M G D P F u n dでは実質的にウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド（以下「ウィントン社」）の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により

運用を行いました。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定し、主として、世界各国の株式や先物取引に実質的に投資を行いました。なお、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

▶ マネー・プール マザーファンド

わが国のコール・ローンおよびC P 現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保および適正な流動性の保持を目指して運用を行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第28期 2018年12月28日～2019年3月27日	第29期 2019年3月28日～2019年6月27日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）	－（－％）
当期の収益	－	－
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	826	826

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ 国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型

引き続き、当ファンドが主要投資対象とする外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dが発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

▶ Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）

（当記載は、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dの資料を基に、三菱U F J 国際投信が作成したものです。）

Q T X W C M G D P F u n dでは実質的にウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。なお、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

マネージド・フューチャーズ戦略

主として世界中の先物及び先渡取引を投資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追隨すること（トレンド・フォロー戦略）によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション（買い持ち）及びショート・ポジション（売り持ち）の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。

株式運用戦略

世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション（買い持ち）又はショート・ポジション（売り持ち）を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。

▶ マネー・プール マザーファンド

わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびC P 現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行う方針です。

2018年12月28日～2019年6月27日

> 1万口当たりの費用明細

項目	第28期～第29期		項目の概要
	金額（円）	比率（％）	
(a)信 託 報 酬	56	0.610	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(25)	(0.270)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(30)	(0.324)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)そ の 他 費 用	0	0.005	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.005)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	56	0.615	

作成期中の平均基準価額は、9,127円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

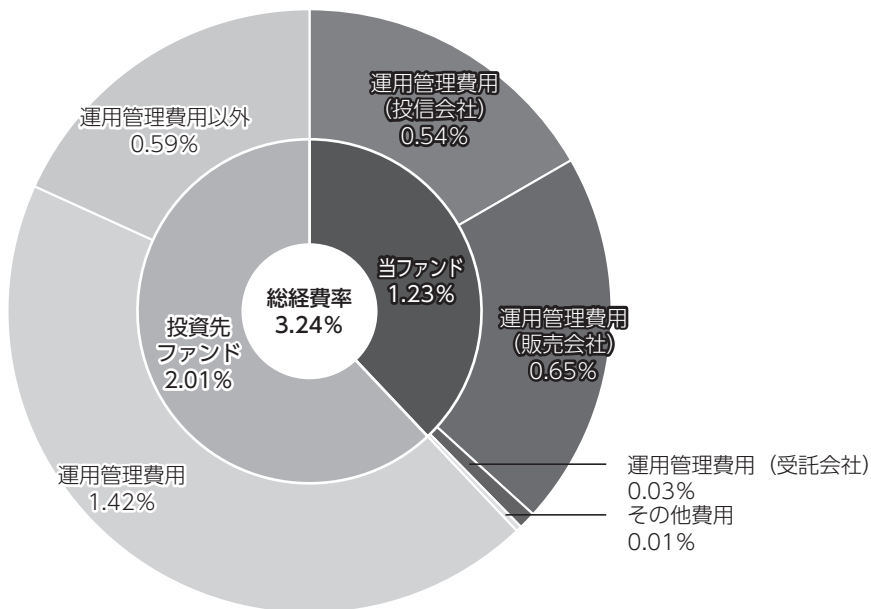
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は3.24%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	3.24
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.23
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	1.42
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.59

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年12月28日～2019年6月27日)

投資信託証券

銘 柄		第28期～第29期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ有)	千口 0.5145 (△0.0014)	千円 600 (－)	千口 34	千円 40,900

(注) 金額は受渡代金。

(注) (－)内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年12月28日～2019年6月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年6月27日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		第27期末	第29期末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ有)		千口 260	千口 226	千円 266,046	% 95.0
	合 計	260	226	266,046	95.0

(注) 比率は国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘 柄		第27期末	第29期末	
		口 数	口 数	評 価 額
マネー・プール マザーファンド		千口 99	千口 99	千円 99

○投資信託財産の構成

(2019年6月27日現在)

項 目	第29期末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 266,046	% 93.7
マネー・プール マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	17,807	6.3
投資信託財産総額	283,952	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第28期末	第29期末
	2019年3月27日現在	2019年6月27日現在
	円	円
(A) 資産	290,241,465	283,952,216
コール・ローン等	15,343,081	15,005,352
投資証券(評価額)	274,798,394	266,046,884
マネー・プール マザーファンド(評価額)	99,990	99,980
未収入金	—	2,800,000
(B) 負債	947,611	3,767,456
未払解約金	—	2,876,258
未払信託報酬	938,027	883,373
未払利息	26	30
その他未払費用	9,558	7,795
(C) 純資産総額(A－B)	289,293,854	280,184,760
元本	317,452,087	308,526,941
次期繰越損益金	△ 28,158,233	△ 28,342,181
(D) 受益権総口数	317,452,087口	308,526,941口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,113円	9,081円

○損益の状況

項 目	第28期	第29期
	2018年12月28日～ 2019年3月27日	2019年3月28日～ 2019年6月27日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 2,008	△ 2,246
受取利息	2	2
支払利息	△ 2,010	△ 2,248
(B) 有価証券売買損益	△ 5,782,584	△ 82,198
売買益	861,507	64,826
売買損	△ 6,644,091	△ 147,024
(C) 信託報酬等	△ 946,364	△ 891,168
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 6,730,956	△ 975,612
(E) 前期繰越損益金	△25,969,841	△31,781,420
(F) 追加信託差損益金	4,542,564	4,414,851
(配当等相当額)	(11,178,591)	(10,864,307)
(売買損益相当額)	(△ 6,636,027)	(△ 6,449,456)
(G) 計 (D + E + F)	△28,158,233	△28,342,181
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金 (G + H)	△28,158,233	△28,342,181
追加信託差損益金	4,542,564	4,414,851
(配当等相当額)	(11,178,591)	(10,864,307)
(売買損益相当額)	(△ 6,636,027)	(△ 6,449,456)
分配準備積立金	15,058,707	14,635,335
繰越損益金	△47,759,504	△47,392,367

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

① 作成期首（前作成期末）元本額 353,488,592円

 作成期中追加設定元本額 0円

 作成期中一部解約元本額 44,961,651円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9081円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は28,342,181円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2018年12月28日～ 2019年3月27日	2019年3月28日～ 2019年6月27日
費用控除後の配当等収益額	－円	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円
収益調整金額	11,178,591円	10,864,307円
分配準備積立金額	15,058,707円	14,635,335円
当ファンドの分配対象収益額	26,237,298円	25,499,642円
1万口当たり収益分配対象額	826円	826円
1万口当たり分配金額	－円	－円
収益分配金金額	－円	－円

*三菱ＵＦＪ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型が投資対象とする外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dが発行する円建の外国投資証券です。

名 称	Q T X W C M G D P F u n d
投資証券（シェア・クラス）の名称	Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）
形態	ケイマン籍外国投資法人
投資の基本方針	主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。原則として米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行います。
運用方針	ウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。 【マネージド・フューチャーズ戦略】 主として世界中の先物及び先渡取引を投資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追従すること（トレンド・フォロー戦略）によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション（買い持ち）及びショート・ポジション（売り持ち）の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。 【株式運用戦略】 世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション（買い持ち）又はショート・ポジション（売り持ち）を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。
投資顧問会社	ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド
アレンジャー	ゴールドマン・サックス・インターナショナル
設定日	2012年4月12日
会計年度	毎年1月1日から12月31日まで

※Q T X W C M G D P F u n dは日本において届出は行われておらず、日本においてQ T X W C M G D P F u n dへの直接投資を行うことはできません。

※ウィントン社の運用は、Q T X W C M G D P T R A D I N Gを通じて行われます。

Q T X W C M G D P F u n d

包括利益計算書、純資産変動計算書、投資概況は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 包括利益計算書

Q T X W C M G D P F u n d

2017年12月31日に終了した年度

(米ドルで表示)

投資損益

純損益を通じて公正価値で測定する金融資産

当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定

Q T X W C M G D P T R A D I N Gに係る未実現損益の純変動 (1,103,949)

Q T X W C M G D P T R A D I N Gに係る実現損益 (純額) 5,232,600

売買目的保有の金融商品

デリバティブに係る未実現損益の純変動 268,914

デリバティブに係る実現損益 (純額) 111,440

貸付金および債権

為替に係る未実現損益の純変動 8,218

為替に係る実現損益 (純額) (2,838)

維持管理料の割り戻し 138,430

受取利息 15,834

投資純損益 4,668,649

運用費用

運用受託報酬 440,128

市場への接続費用 219,744

ファンド管理報酬 115,881

成功報酬 36

その他の費用 158,124

運用費用合計 933,913

運用による純資産の増減 (純額) **US\$ 3,734,736**

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

包括利益計算書（続き）

Q T X W C M G D P T R A D I N G *

2017年12月31日に終了した年度

（米ドルで表示）

投資損益	
<i>純損益を通じて公正価値で測定する金融商品</i>	
<i>売買目的保有の金融商品</i>	
株式投資に係る未実現損益の純変動	(190,243)
株式投資に係る実現損益（純額）	1,171,580
デリバティブに係る未実現損益の純変動	374,353
デリバティブに係る実現損益（純額）	2,616,606
受取配当金（源泉徴収税控除後）	199,901
支払配当金	(274,505)
スワップ取引による支払利息	(4,846)
<i>貸付金および債権</i>	
為替に係る未実現損益の純変動	55,113
為替に係る実現損益（純額）	68,305
受取利息	259,341
その他の収益	19
投資純損益	4,275,624
運用費用	
支払委託手数料	108,064
支払利息	10,416
その他の費用	28,493
運用費用合計	146,973
運用による純資産の増減（純額）	US\$ 4,128,651

（注）（ ）内の金額は、マイナスの金額です。

*本報告書において「Q T X W C M G D P T R A D I N G」を「Trading Fund」ということがあります。

2. 純資産変動計算書

Q T X W C M G D P F u n d

2017年12月31日に終了した年度
(米ドルで表示)

期首	49,399,441
運用による純資産の増減額	3,734,736
資本取引	
un-hedged redeemable preference shares 発行	195,065
un-hedged redeemable preference shares 償還	(12,550,323)
hedged redeemable preference shares 発行	1,761,921
hedged redeemable preference shares 償還	(5,540,868)
等化調整	25,472
	(16,108,733)
期末	US\$ 37,025,444
所有者の内訳	
ordinary shares の所有者に属する純資産	2
redeemable preference shares の所有者に属する純資産	US\$ 37,025,442

Q T X W C M G D P T R A D I N G

2017年12月31日に終了した年度
(米ドルで表示)

期首	45,482,172
運用による純資産の増減額	4,128,651
資本取引	
redeemable preference shares 償還	(14,951,000)
	(14,951,000)
期末	US\$ 34,659,823
所有者の内訳	
ordinary shares の所有者に属する純資産	2
redeemable preference shares の所有者に属する純資産	US\$ 34,659,821

3. 投資概況

Q T X W C M G D P F u n d

金融商品

(米ドルで表示)

	純資産比率	公正価値 (2017年12月31日)
Investment in Trading Fund	93.61%	34,659,821
Total financial assets at fair value	93.61%	US\$ 34,659,821
<i>Derivative liabilities</i>		
Forward currency exchange contracts	0.11%	39,699
Total financial liabilities at fair value	0.11%	US\$ 39,699

Q T X W C M G D P T R A D I N G

金融商品

(米ドルで表示)

	純資産比率	公正価値 (2017年12月31日)
Equity investments	32.38%	11,224,606
<i>Derivative assets</i>		
Forward currency exchange contracts	1.04%	359,277
Futures contracts	4.81%	1,665,605
Total financial assets at fair value	38.23%	US\$ 13,249,488
Equity investments sold short	28.59%	9,910,781
<i>Derivative liabilities</i>		
Forward currency exchange contracts	0.08%	26,164
Futures contracts	2.27%	787,357
Total financial liabilities at fair value	30.94%	US\$ 10,724,302

投資概況（続き）

Q T X W C M G D P T R A D I N G

為替のエクスポージャー

（2017年12月31日現在）

	金融資産	金融負債	ネット・エクスポージャー
Australian dollar	142,812	(3,268)	139,544
Brazilian real	22,994	—	22,994
British pound	84,051	(30,285)	53,766
Canadian dollar	29,381	—	29,381
Czech koruna	331	—	331
Denmark krone	9	(592)	(583)
Euro	728,537	(4,611)	723,926
Hong Kong dollar	179,358	(323)	179,035
Hungarian forint	—	(107)	(107)
Indian rupee	2	—	2
Indonesian rupiah	—	(4)	(4)
Israeli shekel	—	(5)	(5)
Japanese yen	120,341	(92,439)	27,902
Malaysian ringgit	5,138	—	5,138
New Zealand dollar	5,986	(153)	5,833
Norwegian krone	91	(47)	44
Philippine peso	—	(4)	(4)
Polish zloty	—	(91)	(91)
Russian ruble	1	—	1
Singapore dollar	7,438	—	7,438
South African rand	13,382	—	13,382
South Korean won	152,789	—	152,789
Swedish krona	30,242	(39)	30,203
Swiss franc	306	(83)	223
Taiwan dollar	2	—	2
Turkish lira	494	—	494
US\$	1,523,685	(132,051)	1,391,634

（注）（ ）内の金額は、マイナスの金額です。

デリバティブ金融資産

(2017年12月31日現在)

デリバティブ資産	満期	契約数	名目	公正価値
Forward currency exchange contracts	Jan 18-Mar 18	18	US\$16,723,525	359,277
Commodity futures contracts	Jan 18-May 18	488	26,427,057	1,215,902
Currency futures contracts	Mar 18	44	4,795,274	50,981
Index futures contracts	Jan 18-Mar 18	280	29,975,579	293,112
Interest rate futures contracts	Mar 18-Dec 20	387	88,375,177	105,610
CFDs	Current	185	4,671,748	—
US\$				2,024,882

デリバティブ負債	満期	契約数	名目	公正価値
Forward currency exchange contracts	Jan 18-Mar 18	6	US\$ 5,371,934	26,164
Commodity futures contracts	Jan 18-May 18	183	7,679,005	352,644
Currency futures contracts	Mar 18	223	19,935,485	146,078
Index futures contracts	Jan 18-Mar 18	164	12,575,005	150,973
Interest rate futures contracts	Mar 18-Dec 20	272	69,063,166	137,662
CFDs	Current	160	3,436,598	—
US\$				813,521

マネー・プール マザーファンド

《第19期》決算日2019年 1 月15日

[計算期間：2018年 7 月18日～2019年 1 月15日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1 月15日に第19期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第19期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率					
	円	%		%		%	百万円
15期(2017年 1 月16日)	10, 047	△0. 0		—		—	355
16期(2017年 7 月14日)	10, 046	△0. 0		—		—	284
17期(2018年 1 月15日)	10, 046	0. 0		—		—	707
18期(2018年 7 月17日)	10, 044	△0. 0		—		—	210
19期(2019年 1 月15日)	10, 043	△0. 0		—		—	159

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落 率				
(期 首)	円	%		%		%
2018年 7 月17日	10, 044	—		—		—
7 月末	10, 044	0. 0		—		—
8 月末	10, 044	0. 0		—		—
9 月末	10, 044	0. 0		—		—
10月末	10, 044	0. 0		—		—
11月末	10, 043	△0. 0		—		—
12月末	10, 043	△0. 0		—		—
(期 末)						
2019年 1 月15日	10, 043	△0. 0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

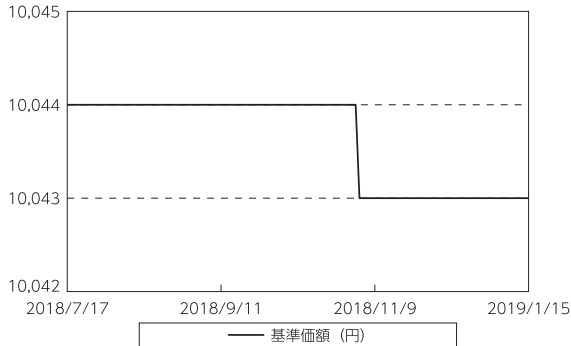
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.01%の下落となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.06%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。期首から2018年9月にかけてはマイナス0.15%程度で推移していたものの、10月に短期国債の需給引き締めなどからマイナス0.33%程度まで低下しました。その後金利は上下を繰り返し、足下はマイナス0.17%程度で推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国のコール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保および適正な流動性の保持を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は期首と比べて下落となりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年 7 月18日～2019年 1 月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 0	% 0.000	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,043円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年 7 月18日～2019年 1 月15日)

その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 12,699,993	千円 12,799,993

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2018年 7 月18日～2019年 1 月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年 1 月15日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 99,999	% 62.8

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2019年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 99,999	% 62.8
コール・ローン等、その他	59,188	37.2
投資信託財産総額	159,187	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年1月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	159,187,084
コール・ローン等	59,187,102
その他有価証券(評価額)	99,999,982
(B) 負債	327
未払解約金	41
未払利息	106
その他未払費用	180
(C) 純資産総額(A－B)	159,186,757
元本	158,505,343
次期繰越損益金	681,414
(D) 受益権総口数	158,505,343口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,043円

<注記事項>

- ①期首元本額 209,541,347円
 期中追加設定元本額 9,154,977円
 期中一部解約元本額 60,190,981円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0043円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09	99,553円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	1,692,054円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	200,000円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	1,008,738円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	63,697円
新興国公社債オープン(通貨選択型) ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	6,316,452円
新興国公社債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンド(年2回決算型)	7,006,668円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	5,154,901円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	49,966円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	995,161円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	2,234,005円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	28,349円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	1,013,875円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンドⅡ(年2回決算型)	6,980,798円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	19,989円
マネー・プール・ファンドⅣ	976,795円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	4,314,823円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	19,977円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース(毎月決算型)	1,608,548円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンドⅤ(年2回決算型)	19,195,870円

○損益の状況 (2018年7月18日～2019年1月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 20,170
受取利息	470
支払利息	△ 20,640
(B) 保管費用等	△ 572
(C) 当期損益金(A+B)	△ 20,742
(D) 前期繰越損益金	926,992
(E) 追加信託差損益金	39,464
(F) 解約差損益金	△264,300
(G) 計(C+D+E+F)	681,414
次期繰越損益金(G)	681,414

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

米国高利回り社債ファンド（毎月決算型）	999円
米国高利回り社債・円ファンド（毎月決算型）	999円
米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド（毎月決算型）	999円
マナー・プール・ファンドVI	72,440,298円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）トルコ・リラコース（毎月決算型）	19,961円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型	99,561円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
エマージング社債オープン（毎月決算型）為替ヘッジあり	99,682円
エマージング社債オープン（毎月決算型）為替ヘッジなし	99,682円
リスク・パリティαオープン	995円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）メキシコ・ペソコース（毎月決算型）	19,925円
米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし	996,215円
国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）為替ヘッジなしコース（毎月決算型）	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）円コース（毎月決算型）	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルピーコース（毎月決算型）	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）円コース（1年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）円コース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）米ドルコース（1年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）米ドルコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ユーロコース（1年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ユーロコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）豪ドルコース（1年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）豪ドルコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ブラジル・レアルコース（1年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ブラジル・レアルコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）メキシコ・ペソコース（1年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）メキシコ・ペソコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）トルコ・リラコース（1年決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）トルコ・リラコース（毎月決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ロシア・ルーブルコース（1年決算型）	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ロシア・ルーブルコース（毎月決算型）	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）中国元コース（1年決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）中国元コース（毎月決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）南アフリカ・ランドコース（1年決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）南アフリカ・ランドコース（毎月決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（1年決算型）	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）マナー・プール・ファンドIX（1年決算型）	1,322,503円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）マナー・プール・ファンドX（年2回決算型）	2,272,536円
欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジあり）	4,979円
欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジなし）	4,979円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース（毎月決算型）	99,562円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース（年2回決算型）	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース（毎月決算型）	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース（年2回決算型）	9,957円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース（毎月決算型）	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース（毎月決算型）	9,956円

優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,956円
米国成長株オープン	996円
世界CoCosオープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,953円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型	9,952円
合計	158,505,343円